

平成19年度消防庁予算(案)について

1 概要

平成19年度予算額(案) 135億64百万円(⑱142億30百万円)

[対前年度比△4.7%]

[対前年度比△2.7%](補正予算に前倒しした分を追加)

(単位:百万円、%)

	⑱予算額(案) a	⑱要求額 b	⑱当初予算 c	比較増減額 a-c	増減率 (a-c)/c
総 額	13,564 (13,839)	15,528	14,230	△ 666 (△390)	△ 4.7 (△2.7)
事業費等	5,093 (5,368)	6,400	5,655	△ 561 (△286)	△ 9.9 (△5.1)
消防補助負担金	8,471	9,127	8,575	△ 104	△ 1.2
緊急消防援助隊設備整備費補助金	5,000	5,539	5,000	0	0.0
消防防災施設整備費補助金	3,351	3,455	3,455	△ 104	△ 3.0
国庫負担金	120	133	120	△ 0	△ 0.3

注1 端数処理の関係上、表中の計算が合わないことがある。

注2 括弧書きの数字は、補正予算に前倒しされたNBCテロ資機材の整備に要する経費(275百万円)を加えた額である。

(担当課・連絡先)

消防庁総務課

はにゆう
羽生理事官、佐藤係長

TEL:03-5253-7506

FAX:03-5253-7531

〈主要事業〉

(1) 消防防災体制の強化

13億11百万円（1億39百万円増）

〈主なもの〉

- ① 市町村消防の広域化の推進に要する経費 18百万円（新規）
- ② 消防救急無線等の高度化・高機能化の推進に要する経費
88百万円（~~18~~46百万円）
- ③ 全国瞬時警報システム（J-A L E R T）整備事業
1億84百万円（新規）
- ④ 国民保護訓練の経費負担に要する経費 94百万円（~~18~~95百万円）
- ⑤ 消防団員の確保及び消防団活動の充実強化に要する経費
73百万円（~~18~~13百万円）
- ⑥ 自治体消防制度60周年記念事業の実施 22百万円（新規）

(2) 大規模災害に対する備えの強化

86億72百万円（58百万円減）

〈主なもの〉

- ① 緊急消防援助隊の4,000隊への増強に要する経費
50億円（~~18~~50億円）
- ② 緊急消防援助隊等の活動体制の充実強化に係る調査検討
に要する経費 30百万円（新規）
- ③ 緊急消防援助隊派遣体制の整備に要する経費
1億02百万円（~~18~~82百万円）
- ④ 消防防災施設の整備に要する経費 33億51百万円（~~18~~34億55百万円）
- ⑤ 消防の国際協力及び国際貢献の推進に要する経費 7百万円（新規）

〔このほか、平成18年度補正予算で「NBCテロ災害対応資機材の整備に要する経費」（2億75百万円）を措置。〕

(3) 火災予防対策の積極的推進・消防防災科学技術の向上

10億86百万円（1億18百万円増）

<主なもの>

- ① 住宅防火対策及び防災製品普及の総合的促進方策の検討に要する経費 24百万円（新規）
- ② 危険物施設における安全対策の総点検に要する経費 1億30百万円（新規）
- ③ 消防防災技術研究開発に要する経費 3億11百万円（~~18~~3億50百万円）

(4) 地域の安心・安全の確保

2億06百万円（7百万円増）

<主なもの>

- ① 消防団員の確保及び消防団活動の充実強化に要する経費（再掲） 73百万円（~~18~~13百万円）
- ② 消防団・自主防災組織の育成等に要する経費 16百万円（~~18~~16百万円）
- ③ 地域安心安全ステーション整備モデル事業に要する経費 11百万円（~~18~~37百万円）
- ④ 救急業務の高度化推進に要する経費 9百万円（~~18~~15百万円）